

特集

みんなの農地を みんなで守る。

農業の担い手が減少を続けている下関。
農業の担い手の7割が65歳以上という中で、
集落ぐるみで農業を営む法人が増えてきました。
法人同士の試みや、いろいろな農業スタイルに迫ります。



意外に
多い!? 少ない?

野菜を入手できます。
ところが、農業を支える担い手は高齢化が進み、下関市では担い手の7割以上が65歳以上です。
加えて市内の農村地域には、耕作条件が不利な農地も多くあります。農地を持つてはいるものの、

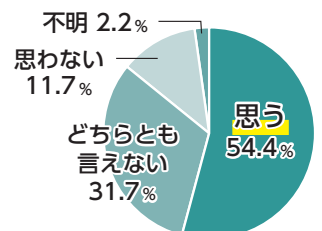
市内生産量1位のナシや、ふくの薬味として欠かせない香り豊かなふくねぎ、フルーツのような甘さの垢田のトマトなど、県外からも評価の高い農産物もあります。
また、消費地と生産地が近いという特性を生かした農産物直売所も多数あり、市民は手軽に新鮮な野菜を入手できます。

産都市の下関市は、県内有数の農畜産物の産地でもあります。米と麦は県内2位の生産量を占め、米は市民の消費量を賄えるほどの量を生産しています。

水

Q

新鮮・安心・安全で消費者ニーズに沿った地元の農林水産物が市民に安定的に提供されていると思いますか？



令和2年 下関市市民実感調査より

SHIMONOSEKI AGRICULTURE

農業のいろいろな機能

農業は、私たちに大きな恵みをもたらす大切な産業です。
農業はこれからも私たちの暮らしに欠かせません。

農業は
スゴイ！

01 洪水を防ぐ



一時的に雨水をため、
ダムのような役割をする。

02 川の流れを安定させる



田に浸透した雨水は、
ゆっくり川に流れる。

03 生き物のすみかになる



いろいろな生き物が、
たくさん田畑に生息する。

04 体験学習と教育の場になる



食料の恵みに感謝する
心や道徳観が育まれる。



#華山の麓に広がる豊田町の田畑

農業をしない方も増え、イノシシ、シカ、サルなどによる農作物への被害も深刻化しています。
このような中、農地の荒廃を防ぐため、地域の農家が協力して集落営農法人を設立し、集落ぐるみで農業を営むケースが増えてきました。
ここでは、集落営農法人による農業や、集落営農法人が抱える課題を解決するものとして今後期待されるスマート農業を特集します。

農地を守りたい。
地域の強い思い。



③ #アグリ永田郷



① #小野愛農組合



⑤



④



②

①田植えと同時に肥料などもまくことができる田植え機。②豊田町では酒米を生産する法人もあります。③麦も稲も刈ることができるコンバイン。いつも飲むビールにも下関産の麦が入っているかも。④松屋の長谷川代表。⑤松屋の深野さん。

農業に夢を。

以前は、60歳で企業を退職し、農業を始める人がいましたが、今は定年延長などにより、退職後に農業を始める人が少なくなってきました。

担い手が高齢化し、個人で農地を守れなくなってきたことから、地域の農家が共同で出資して設立する集落営農法人が、ここ10年間で増えてきました。法人は、農地を借りる資格を持ち、大型機械による農作業の効率化、低コスト生産に取り組んでいます。

王喜の法人松屋は、担い手の高齢化と農地の荒廃をなんとかしたいという地域の方の思いで、2012年に3つの集落が集まって設立されました。現在、松屋の構成員は124人。水稲、麦、キャベツなどを合計約120畝栽培し、構成員は、営農、ライスセンター、企画、経理のそれぞれの部門で、分担して仕事をしています。

代表の長谷川仁広さんに話を伺いました。「田植えや稲刈りなどの繁忙期には、地域の定年退職された方を中心に作業してもらっています。」

ます。構成員の家族で他に仕事のある方も、仕事を休んで手伝ってくれています。みんなで農業をすることで、農地が荒れず、和気あいとした雰囲気で作業ができていますが、組合員の平均年齢は約70歳。担い手の確保と、農機具の老朽化に伴う更新経費の負担が課題です」

松屋では設立当初から、若者を雇うという目標があり、この4月に初めて20歳の新人を迎え入れることができました。

新人の深野将生さんは、県立農業大学校在学中に松屋で研修を受け、構成員の人柄に引かれて松屋への就農を決めました。「じっとするより体を動かしながら覚えるのが楽しくて農大に進みました。農大と現場は、設備も違いますし、ネットの張り方や畝の立て方も違うので、やり方を変えないといけません。今は覚えることがたくさんありますが、一生懸命やっています」と深野さん。

長谷川代表は「法人に夢を持って入ってきてくれたので、夢を持ち続けられる法人でありたいです」と話します。



集落営農を続けるために。

現在、市内の集落営農法人では作業員の高齢化や、猛暑の中の作業により作業員が体調を崩してしまふなどの課題を抱えています。

その解決策にもなるロボット技術を活用した、作業の省力化や、農産物の高品質化を実現するスマート農業が、下関でも始まりました。その一つが草刈りロボットです。このロボットはコントローラーで操作し、無人走行が可能です。これまで難しかった傾斜のある場所も、簡単に草刈りができるようになりました。課題はコストで、草刈りロボットの価格は約300万円。市の補助を受けても、一つの法人で所有するには高額です。

そこで、農協が草刈りロボットを導入し、市内の法人で構成する山口県農協下関集落営農法人協議会で共同利用を始めました。協議会ではドローンを使った農薬散布も試みられています。

法人同士が連携して、下関の農業を守っていく取り組みが始まりました。

山口県農協下関集落営農法人協議会 川岡康男会長

草刈りロボットやドローンを複数の法人で共同利用する試みが始まりました。このことが、法人同士の連携が進むきっかけになるかもしれません。今の集落営農法人の課題である後継者を確保するための連携は、まだ難しい状況ですが、JAグループ山口が中心となり、期間労働の募集を始めました。農業は、自然の中でおいしい空気を吸いながらできる仕事で、たくさんの魅力があります。農業は体が動けば、年齢に関係なくできます。農作業をしてみたい方は、ぜひご連絡ください(詳しくは7頁「農業バイト」を参照)。



METHOD 1×2×3=6

久野ファーム。

農業(第1次産業)で生産した農産物を食品に加工(第2次産業)し、製品の流通や販売(第3次産業)を手掛ける6次産業化への集落営農法人の挑戦。



①人気の加工品。②こんにゃくいもの栽培の様子。③女性部の皆さん。「数の子のような食感」と大人気の漬物の原料になるそうめんうりも、みんなで育てたもの。

菊川町の久野ファームでは、10年から15年先の将来像を描き、みんなで話し合って第2期まで経営計画を作っています。企業が経営分析などに使うバランス・スコアカードやスワット分析を用い、客観的に法人経営を分析し、実践できるような計画を立てています。

その中で意見のあった女性の組合員化を2014年に、農産加工所「食工房のちゃん」の建設を2016年に実現しました。現在、構成員91人のうち女性が約半数を占め、女性の力を結集した加工品やお弁当を作って販売しています。作物の収量や品質の向上はもちろん、経営の多角化につながる女性部の活動を活性化させ、これまでに以上に法人経営を安定させることが法人の目標の一つです。

浅野東雄代表は「法人経営には、一人でも多くの組合員に参加してもらい、役割分担してやっています。これからは若い人を育てて、新しい技術を導入することで、より良い法人経営を行い、地産地消を進めて、元気で安心して暮らせる地域にしていきたいです」と久野ファームへの熱い思いを語ります。

久野ファーム女性部 松尾美佐江部長

「仲間づくり、生きがいくくり、久野を元気に」をモットーに、毎週木曜日に集まります。久野ファームや久野の方が作った農産物を使って、芋100%のこんにゃく、ザル豆腐、丸餅、ダイコン・そうめんうりの漬物やお弁当をみんなで楽しく作っています。こんにゃくは、つるつるでもっちりした食感とのど越しの良さを追求して、手作業で作るなど、商品には、こだわりがたくさん詰まっています。これからも商品開発を進め、「食工房のちゃん」のファンを増やしたいです。

◆加工品についてのお問い合わせ◆ ☎080-1645-9907



METHOD TO START FARMING

農業を始める。

地域に溶け込めるか、体力が持つかなど、農業への不安がある人は多いと思います。
興味のある方は、まずは自分にあったスタイルで、農業を始めてみてください！

03 トライアル農業 新規農業就業緊急支援事業【今年度限り】

農家さんの指導を受けながら、作ってみたい品目で、
就農体験をしてみませんか？

☑市内での就農を希望する方

☑原則1カ月以上、6カ月以内

☑125,000円を市が支給

☑事前(令和3年1月末まで)に農業振興課へ相談を。

品目によっては、受け入れができないこともあります。

体験終了後に報告書を提出していただきます。

☎農業振興課(☎231-1228)



農業に
トライするぞ！

01 チャレンジ農業 就農チャレンジ推進事業

農家さんの指導を受けながら、作ってみたい品目で、
就農体験をしてみませんか？

☑新たに就農を希望する方

☑1品目5日程度、最長15日以内

☑指導料無料(支給はありません)

☑事前に農業振興課へ相談を。

品目によっては、受け入れができないこともあります。

体験終了後に報告書を提出していただきます。

☎農業振興課(☎231-1228)

初めてでも
できる気がする！



04 ガッツリ農業 下関市シティプロモーションサイト



農業にはどんな形態があるのか、就農した先輩の体験、
現地リアルレポートなどは「下関市シティプロモーション」
のサイトをご覧ください。

農業をしたいと思われる方は、お気軽に農業振興
課へご相談ください。

☎農業振興課(☎231-1228)



02 農業バイト やまぐち農業専門求人サイト



農業の求人・求職者の新しいマッチングサイト「アグ
ボン」で、自分に合った求人を探してみませんか？

スマホで今すぐ検索！

☑サイトの応募フォームで登録を。

☎JA山口中央会無料職業紹介所

(☎083-973-2224)

